



【用美】

「用の美」とも称される「民藝運動」に由来する言葉。日本に西洋的な「アート」の思想が導入されてから目を向けられなくなった、日本古来からの名もなき職人達による「簡素ながら機能美に優れた飾らない美しさ」を表現する言葉。私たちが大切に守り続けてきたこの思考は、なにより料理人の想いをかたちにし、そのお客様方に最高の料理を提供するためのものです。一流の料理人のその所作自体がアートであり「美」であると捉えるなら、その支えたる道具にこそ華やかな装飾は必要ないのです。